

浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

令和3年 6月号

☆自分から 相手の目を見て 笑顔いっぱい☆ ~あいさつ運動ありがとうございました~

連休とともに始まった5月。連休明けの6日（木）は、久しぶりの登校となりましたが、子どもたちのいつもと変わらぬ様子に安堵いたしました。また、10日（月）から14日（金）までは、浅井4校あいさつ運動でした。学校では、児童会の子どもたちがあいさつ運動啓発のすてきな動画を作り、全校に呼びかけをしてくれました。感染症拡大防止のため、中学生からのあいさつの呼びかけは中止となりましたが、保護者や地域の皆さんの温かいあいさつと笑顔に、子どもたちも嬉しそうなお表情であいさつを交わしていました。また、児童会の子どもたちも登校後、門に立って、あいさつを呼びかけました。手作りのたすきをかけ、張り切ってあいさつをする姿に、自分たちでよりよい浅井北小にしていこうとする思いが感じられ、嬉しくなりました。最終日には、PTA実行委員の皆さんが校門に立ち、あいさつを呼びかけてくださいました。顔見知りの保護者の方から声をかけられ、嬉しそうに、また、照れくさそうに答える姿がほほえましく、あいさつ運動を通して、様々な人たちとの交流が子どもたちの心の成長には欠かせないことを再認識いたしました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



心は密に ~子どもとともに学び続ける~

集会等全校で集まることは難しい状況ですが、委員会活動では、思いを伝え、互いにつながるための工夫をして取り組んでいます。生活委員会では、月曜日の全校集会に代わり、放送で学校生活のふりかえりや週目標などをアナウンスしています。新型コロナウイルス感染症予防に向けて、保健委員会の子供たちは、感染予防のための合言葉や手洗いを実演した動画を公開しました。図書委員会でも、6月からのあじさい読書週間に向けての動画を作成しています。ICTを活用しての新たなつながりへの試みは始まったばかりですが、子どもたちの「つながりたい」という思いを大切に、個々が役割を発揮するなかで自己有用感を高めていけるよう支援をしていきます。

私たち教職員にとって、子どもたちに心のつながりを感じさせる場は、居ごごちのよい教室と自己肯定感を感じる授業です。5月は授業力向上に向け、研究授業や外部講師を招いての模擬授業を行いました。研究授業では、授業力向上の手立て（①「前時のふりかえり」を生かした導入から展開までの場の工夫 ②次時につながる「ふりかえり」の工夫 ③誤答を認め合い、お互いの考えを理解し合う雰囲気作り）を確認する「提案授業」の形で行いました。また、外部講師を招いての模擬授業では、子どもの立場になって、本校の手立てを効果的に行う方策について理解を深めました。



今後も日々の授業を大切に、子どもを中心にすえた学校教育のあり方を工夫していきます。

☆緊急事態宣言発出中 手洗い・換気・三密を避けるなど感染予防に努めましょう☆